

【協働によるまちづくり①】

森川晴仁（もりかわ はるひと） 堀金中学校

私は、堀金中学校二年 森川晴仁です。

「協働によるまちづくりグループ」では、財政、議会、市民協働、男女共同参画について学習してきました。

私は、男女共同参画についてお尋ねします。

私が思う課題は、現在の社会における男女平等の取組は、まだ定着していないということです。最近では、女性のタクシードライバーや男性の保育士も多くなってくるなど、男女平等の社会が形成されつつあります。しかし、家庭内では、どうでしょう。昭和の映画に象徴される日本の家庭は、相変わらず女性が家事の中心となることが多いように思います。

女性の社会進出が目覚ましい現代では、家庭内でも男女で協力して家事を行うなどのことがもっと当たり前になるべきではないかと思えます。今の日本では、まだ料理・洗濯は母親の仕事という意識がないでしょうか。その意識が変わらずして男女平等が定着してきたとは言い難いと思うのです。

そこで私は、市にお願いしたいことがあります。それは、社会で活躍している女性の声を講演会などで広げていくということです。そうすることで、女性が社会で活躍するためには、家庭内で家事を分担する等、互いを思いやる必要がある事が訴えられます。また、性別によって困っていることをテーマとした啓発活動を開催し、男性も女性も互いの思いを理解し、身近な生活の中から助け合おうという意識を高めていく必要があると思えます。

このことは、学校教育でも可能です。学校でも男女混合名簿の使用、男子の家庭科学習の充実など、男女平等への変革が進んできました。今後も男女平等の視点に立って改善できることはないか、考える機会をもてるようにしてはどうでしょうか。男女平等の視点に立って考えてみることは、社会や家庭の中で残っている固定観念を打破することにつながると思えます。

このような取組を進めれば、男性、女性が互いを尊重し合う、思いやりのある安曇野市になるのではないのでしょうか。それは、男性・女性の間だけでなく、様々な違いを受け入れて互いの人権を尊重し合う社会づくりの基盤になるはずです。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【協働によるまちづくり②】

内田明花（うちだ はるか） 豊科南中学校

私は、豊科南中学校二年 内田明花です。

私は、地域活動の充実とつながりについてお尋ねします。安曇野市の地域活動には、「自然・環境、福祉、産業、伝統・文化」と多くの活動があり、それらの活動を通して、多くの人が交流しています。

私が思う課題は、それぞれの地域活動の中には、私も初めて知る活動もあり、認知度が低いものもあるのではないかとことです。そして、実際に参加しようと思っても、利用できる交通手段が少ないということです。

そこで、私は地域活動の認知度を高めること、自家用車に頼らなくても地域を行き来できるようにする必要があると考えました。

その実現のため、市に願いたいことは、日時、場所、内容、交通手段を子供から大人までわかりやすくした地域活動を紹介するパンフレットを作成し、小中学校に配布したり回覧板で各家庭に配布したりすることを考えました。

また、自家用車でなくても、お年寄りから子供まで、それぞれの地域に行くことができるバスなどの交通機関をさらに整備してもらいたいと思います。

そうすることで、幅広い年代の方々が今よりもっと地域の活動を知り、そして興味をもち地域活動に参加してもらえないのでしょうか。

私は、多くの市民が地域活動に参加し、交流することで、活気のある安曇野市になるのではないかと考えています。そのためにも、多くの市民が気軽に地域活動に参加できる環境を作って頂きたいと思います。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【協働によるまちづくり③】

切久保匡河（きりくほ おうが） 三郷中学校

私は、三郷中学校二年、切久保匡河です。

私は、安曇野市の認知度の向上と観光客数について提言させていただきます。

学習会の中で、「安曇野市を知らない人が多い」と聞きました。私が思ったことは、安曇野市を簡単に知る手立てがないからだと思います。

そこで私が考えた提案は、市のホームページに、安曇野市の魅力的な場所を紹介するマップを作ることです。これも、市の職員がつくるのではなく、市民のボランティアで作成します。

どのように作るのかというと、市のホームページに新しいページを作り、そのページを名所、お店が載ったマップにします。閲覧したい場所をクリックすると市民の方からの感想も閲覧できるようにします。できれば、市民だけに書き込んでもらうのではなく、観光客の方々にも書き込んでもらいます。書き込んでもらう際には、市民だけでなく、市外の人にも分かりやすいものにしてもらいます。書き込んで頂いた観光客の方には、ポストカードを差し上げることも良いのではないのでしょうか。こうすることで認知度も向上し、観光客数も増えると思います。

市にお願いしたいことは、観光客の方がすぐにアクセスできるようにするためのQRコードづくり、ホームページの開設と管理、安曇野市の風景のポストカード制作をお願いしたいと思います。

安曇野市のことをもっと知られて、来たいという人が増えれば市のより活性化につながると思います。私の安曇野市の認知度の向上と観光客数を増やす手立ての提言を終わります。ありがとうございました。